

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 6年 5月 27日(月曜日) 15時 40分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道管(φ20)破損	事故レベル	I		休業見込日数	—	
工事概要	街路樹が根上りして、歩道が破損しているため、歩道の補修と路盤改良を施工。						
事故概要	作業中のバックホウ(0.08m3)が埋設水道管(φ20)にバケットを接触させて、水道管を破損。						
事故原因	受注者は、本件工事に先立ち埋設物管理者(水道局)との事前協議を行い、埋設物管理図を入手し、被災した給水管の位置(平面位置)を把握していた。なお、管理図には被災管の深度が80cmと記載されていた。これに対して掘削深度は60cmではあったが、事故発生箇所において深度約50cmの位置で埋設物標示シートが出土したため、人力により試掘を行ない部分的に埋設管が無いことを確認した。しかしながら、試掘した土砂をバックホウで掬い取ろうとしたところ、バケットの先が試掘箇所横の地山に入り、局所的に浅い位置(深度50cm)に立ち上がっていた被災給水管にバケットを接触させた。						
改善策	今後は、深さに関わらず、埋設テープや埋戻し砂に敏感になり、怪しそうな場所は注意して人力掘削を行う。 また、掘削した土砂を除去するなどの際はバックホウにより直接掬い取ることを避けて、再発の防止に努める。						

事故状況図



破損箇所



同、接写

改善状況図



掘削には、エアースコップを使用し、埋設物が想定される箇所では手掘りで様子を伺いながら施工することいたしました。